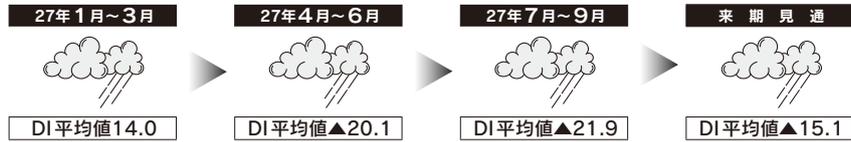


県内中小企業(製造業)景況動向

平成27年7月9月期

今期は総じて悪化傾向にあり、来期も依然厳しい見通しが続く

本会調査結果概要



業種別景況動向

食料品

1-3	4-6	7-9	来期見通
7.2	▲26.9	▲20.9	▲15.3
<p>前年同期比の売上高D Iは▲18.0、収益性D Iは▲23.7で、両方を合わせたD I平均値は▲20.9となり「小雨」模様が続けている。来期見通しは5.6ポイント上昇して▲15.3となり「小雨」模様が続く見通しになっている。</p> <p>なお、前期比の売上高D Iは▲22.5、収益性D Iは▲32.3となった。</p> <p>また、雇用人員判断D Iは5.9、設備操業率D Iは▲12.5、設備投資実施率は43.6%となった。</p>			

繊維・同製品

1-3	4-6	7-9	来期見通
▲28.0	▲17.9	▲30.0	▲14.0
<p>前年同期比の売上高D Iは▲24.0、収益性D Iは▲36.0で、両方を合わせたD I平均値は▲30.0となり「小雨」模様が続けている。来期見通しは16.0ポイント上昇して▲14.0となり「小雨」模様が続く見通しになっている。</p> <p>なお、前期比の売上高D Iは▲12.0、収益性D Iは▲22.2となった。</p> <p>また、雇用人員判断D Iは6.3、設備操業率D Iは▲44.4、設備投資実施率は8.0%となった。</p>			



概況

売上高と収益性を合わせたD I平均値(前年同期比)については▲21.9となり、前回調査(27年4-6月期)の▲20.1から1.8ポイント下降している。来期見通しにおいては、6.8ポイント上昇して▲15.1となっている。

売上高D I(前年同期比)については▲17.1となり、前回調査から1.1ポイント上昇している。来期見通しにおいては▲10.5となっている。

収益性D I(前年同期比)につ

いては▲26.6となり、前回調査から4.6ポイント下降している。来期見通しにおいては▲19.7となっている。

業況D I(前年同期比)については▲21.8となり、前回調査から0.8ポイント下降している。来期見通しにおいては▲11.7となっている。

原材料価格D I(前期比)については16.4となり、前回調査から6.3ポイント下降している。

販売価格D I(前期比)については▲7.2となり、前回調査から1.0ポイント下降している。

資金繰りD I(前期比)につ

ては▲15.0となり、前回調査から2.9ポイント下降している。

金融機関の態度D I(前期比)については0.0となり、前回調査から1.9ポイント下降して硬化している。

設備投資実施率については25.9%となり、前回調査より1.1ポイント上昇している。業種別でも高い実施率となったのは、「プラスチック製品」の50.0%で、目的別では、「増産」と「品質向上」がともに17.0%でトップであった。

設備操業率D I(前期比)については、▲15.5となり、前回調査から2.1ポイント下降している。

紙・加工品

1-3	4-6	7-9	来期見通
			
▲7.7	▲26.5	▲39.9	▲47.0
<p>前年同期比の売上高D Iは▲23.6、収益性D Iは▲56.2で、両方を合せたD I平均値は▲39.9となり「雨」模様へ転じている。来期見通しは7.1ポイント下降して▲47.0となり「雨」模様が続く見通しになっている。</p> <p>なお、前期比の売上高D Iは▲29.4、収益性D Iは▲37.5となった。</p> <p>また、雇用人員判断D Iは▲6.2、設備操業率D Iは▲43.7、設備投資実施率は25.0%となった。</p>			

木材・木製品

1-3	4-6	7-9	来期見通
			
▲36.4	▲35.0	▲40.0	0.0
<p>前年同期比の売上高D I、収益性D Iともに▲40.0で、両方を合せたD I平均値は▲40.0となり「雨」模様が続いている。来期見通しは40.0ポイントの大幅上昇で0.0となり「曇」模様へ転じる見通しになっている。</p> <p>なお、前期比の売上高D Iは▲11.1、収益性D Iは▲22.2となった。</p> <p>また、雇用人員判断D Iは11.1、設備操業率D Iは▲12.5、設備投資実施率は0.0%となった。</p>			

金属・同製品

1-3	4-6	7-9	来期見通
			
▲14.1	▲33.4	▲6.2	2.0
<p>前年同期比の売上高D Iは▲4.0、収益性D Iは▲8.4で、両方を合せたD I平均値は▲6.2となり「小雨」模様へ転じている。来期見通しは8.2ポイント上昇して2.0となり「曇」模様へ転じる見通しになっている。</p> <p>なお、前期比の売上高D Iは16.0、収益性D Iは▲5.0となった。</p> <p>また、雇用人員判断D Iは4.8、設備操業率D Iは「上昇」、「下降」とも23.8%で0.0、設備投資実施率は32.0%となった。</p>			

窯業・土石製品

1-3	4-6	7-9	来期見通
			
▲25.4	▲7.2	▲30.6	0.0
<p>前年同期比の売上高D Iは▲30.5、収益性D Iは▲30.6で、両方を合せたD I平均値は▲30.6となり「雨」模様へ転じている。来期見通しは30.6ポイントの大幅上昇で0.0となり「曇」模様へ転じる見通しになっている。</p> <p>なお、前期比の売上高D Iは▲25.0、収益性D Iは▲29.0となった。</p> <p>また、雇用人員判断D Iは6.5、設備操業率D Iは▲12.9、設備投資実施率は22.9%となった。</p>			

プラスチック製品

1-3	4-6	7-9	来期見通
			
10.0	0.0	▲16.6	16.6
<p>前年同期比の売上高D I、収益性D Iともに▲16.6で、両方を合せたD I平均値は▲16.6となり「小雨」模様へ転じている。来期見通しは33.2ポイントの大幅上昇で16.6となり「薄日」模様へ転じる見通しになっている。</p> <p>なお、前期比の売上高D Iは▲33.3、収益性D Iは▲50.0となった。</p> <p>また、雇用人員判断D Iは▲16.7、設備操業率D Iも▲16.7、設備投資実施率は50.0%となった。</p>			

機械・機器

1-3	4-6	7-9	来期見通
			
▲12.8	▲13.7	▲11.6	▲17.3
<p>前年同期比の売上高D Iは▲3.8、収益性D Iは▲19.3で、両方を合せたD I平均値は▲11.6となり「小雨」模様が続いている。来期見通しは5.7ポイント下降して▲17.3となり「小雨」模様が続く見通しになっている。</p> <p>なお、前期比の売上高D Iは▲3.8、収益性D Iは▲19.5となった。</p> <p>また、雇用人員判断D Iは16.7、設備操業率D Iは▲2.8、設備投資実施率は22.4%となった。</p>			